

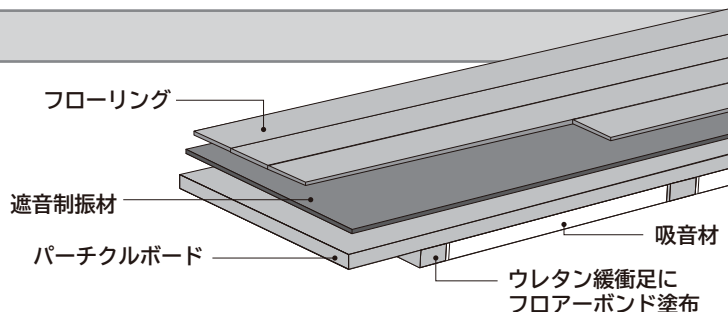
【おとなし施工要領書】

1. おとなしの敷き込み

1-① 下地の不陸を確認・調整してください。
(必要の場合はセルフレベルリング等で調整してください)

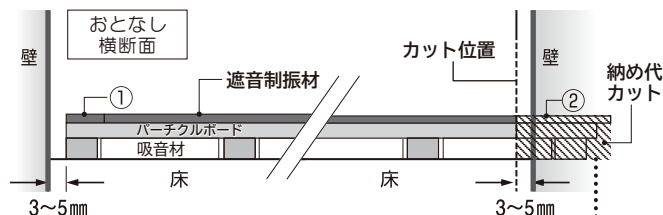
1-② 敷き込み方向を決める。

フローリングはウレタン緩衝足と直行方向とする。
おとなしはレンガ貼りしてください。



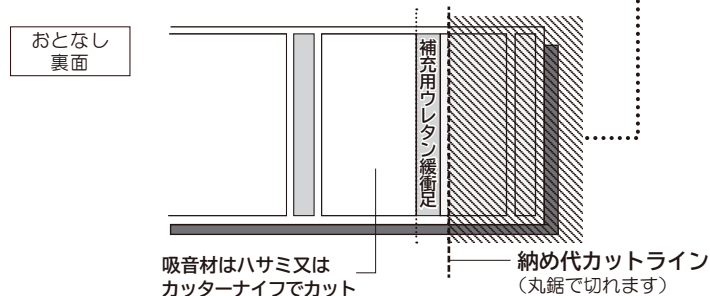
1-③ 敷き込みは壁基準とし、壁面より
3～5mm 隙間を取る。

ウレタン緩衝足にフロアーボンドを塗布の上、敷き込む。
(釘、ビス等での固定は振動が伝播する為 不可)
貼り始めは、パーチクルボード端部を基準として敷き
詰めていき、最終端部をカットし、②遮音制振材を
①(最初の端部)に接着し貼り合わせてください。



1-④ ウレタン緩衝足の取り付け

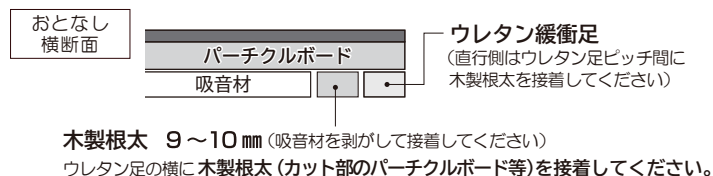
納め代をカットし、ウレタン緩衝足が無くなった場合、
カットした緩衝足を取り付けるか、別売りの補充用
ウレタン緩衝足 (おとなし 補充足) を貼り付けてください。



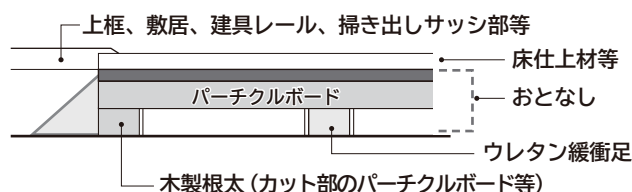
1-⑤ 敷き詰め

際根太

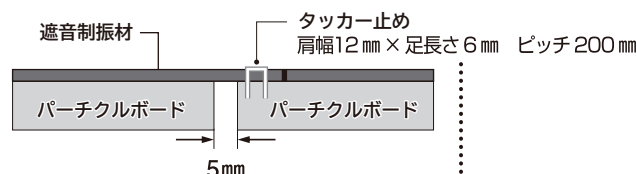
①特別な荷重 (100kg/㎡以上) が予想できる部分には
壁際面及び重量物の下部 (冷蔵庫キッチン等) に厚み
9～10mm の木製根太 (カット部のパーチクルボード等)
を準備しウレタン緩衝足の横にフロアーボンドを塗布の上
はめ込んでください。



②上框、敷居、建具レール、掃き出しサッシ部等の
沈み込み対策として木製根太を施工してください。

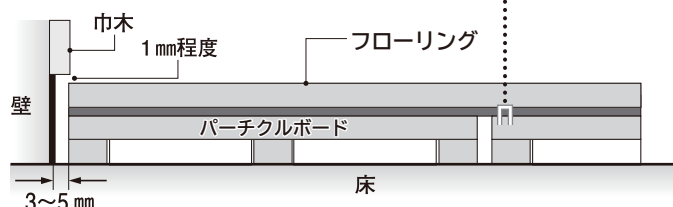


遮音制振材と遮音制振材の端面を突き当てる。
(パーチクルボード間に 5mm の隙間ができます)
遮音制振材とパーチクルボードのラップ代 30mm 部分を
200mm ピッチでタッカー止めし、隣と固定してください。

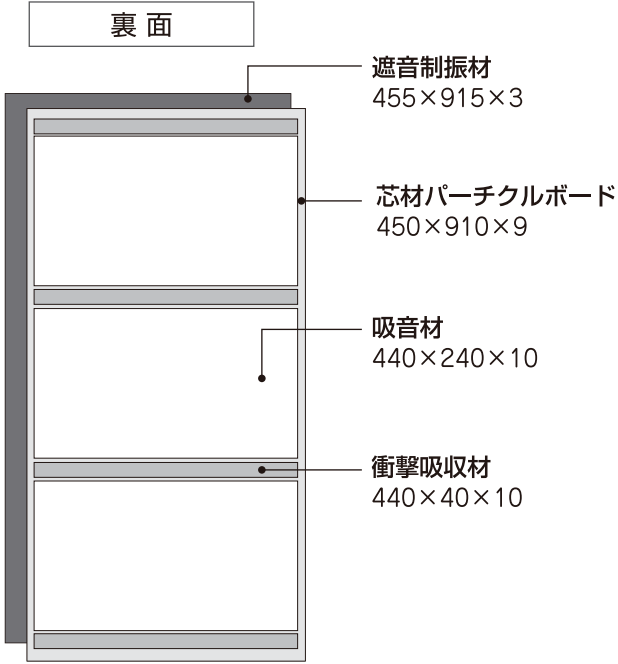
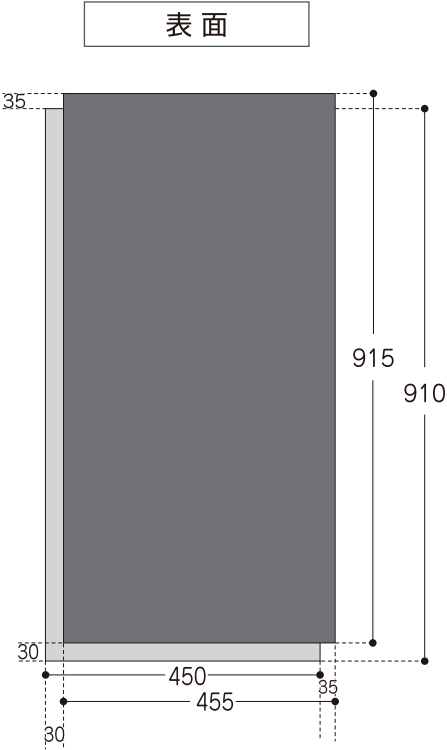
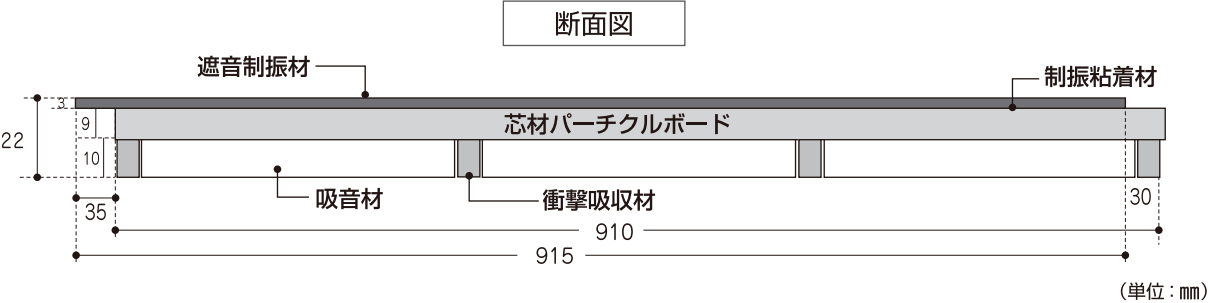


2. フローリングの敷き込み

おとなしを全面敷き込み、タッカー止めを確認し
表面を掃除する。
無垢フローリングは、スティールと接着剤の併用
にて固定。スティールは防音材のパーチクルボードに
とどく様に打ち込んでください。



おとなし【製品図】

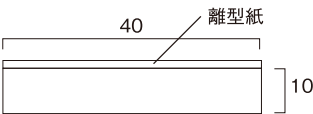


おとなし

【例】6帖施工の場合／
右図の様にカットすると6本必要となります
この部分をカットして補充足を取付ける

【別売】

おとなし 補充足



サイズ: 440×40×10 mm
入 数: 16 本入 / 箱

- 粘着剤付
- 施工の際は、離型紙を外してご使用ください。

施工後 裏面

----- 切断する箇所

